

所属 文学部 文化総合学科		職名 教授		氏名 大 矢 一 人	
学位 教育学修士(広島大学)		特記すべき資格		大学院における研究指導担当資格 無	
I 教育活動					
主な担当科目 <学 部> 教師論, 教育原理, 教育方法論, 道德教育, 教育実習, 教職実践演習, 介護等体験, 教職課外活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 1) ビデオの活用		2013年4月～現在	科目ごとに、ビデオを適宜利用している。ビデオは教育実習校での研究授業の様子、研究会での先生方の授業風景、テレビの教育番組などである。以下、使用するビデオの数を記す。 教師論(ビデオ4種), 教育原理(2種), 教育方法論(3種), 道德教育(3種), 教育実習 I a(9種), 教育実習 I b(6種), 教職実践演習(5種)		
2. 作成した教科書, 教材 1) プリントの活用		2008年4月～現在	授業では教科書を使わないので、副教材としてプリントを作成し、活用している。以下に、科目ごとのプリント枚数を記すが、それ以外に時々の教育時事、教員採用試験関係のプリントも配付している。 教師論(プリント約45枚), 教育原理(約70枚), 教育方法論(約45枚), 道德教育(約60枚), 教育実習 I a(約80枚), 教育実習 I b(約50枚), 教職実践演習(約10枚+学生作成のレジュメ), 介護等体験(約10枚), 教職課外活動 I・II・III(約5枚)		
2) 新中等教育原理－改訂版－(福村出版)		2019年3月	担当:これからの中等教師(13章181-194頁小項目は以下の通り)を執筆した。 1.教師論の変遷から見た中等教師のもつべき資質 2.教師の専門性 3.これからの教師 4.中等学校の教師とは 佐々木正治編著 山田浩之, 岡谷英明, 山岸知幸, 田代高章, 上寺康司, 伊藤一統, 矢藤誠慈郎, 松原勝敏, 赤木恒雄, 高橋正司, 堀田哲一郎, 平田仁胤, 大矢一人		
3) 教育実習の手引き(第7版)(学術図書出版)		2019年10月	担当(執筆者として明示されてはいない):教科外の指導の心得(第4章13-19頁 小項目は以下の通り)を執筆した。また、「第5章 教育実習日誌の書き方」の一部を担当し、さらに全体の校正も行った。 A.道德の授業と教育実習の内容 B.「総合的な学習(探究)の時間」の授業と教育実習の内容 C.特別活動の指導と教育実習の内容 北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会編		
3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等 1) 「教育方法論」の授業公開		2015年7月	人間生活学部FD委員会の要請により、人間生活学科3年対象の「教育方法論」の授業公開を7月9日Ⅲ講時に行った。		
4. その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
研究分野: 教育学			研究キーワード: 教育史, 教師教育		
研究課題: ①占領下日本における教育改革史 ②大学における教師教育のあり方 ③明治期における近代学校の成立の意味 研究内容: ①米側の資料を調査・分析中。また北海道の占領期について、日本側史料を調査中。 ②再課程認定後の教師教育について研究中。 ③「就学督責研究会」に参加し、明治中期以降の北海道・青森・東京・神奈川・山梨・徳島・広島などの「就学督責」を調査中。					
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況: 1. 科学研究費 基盤研究(B) 「近代学校の組織化に関する地域史研究－就学行政の「勸奨」と「督責」の構造化」(研究分担者。研究代表者:荒井明夫)2014年4月1日～2018年3月31日					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名	
(著 書) 1. 就学告諭と近代教育の形成－就学勸奨と学校創設	共	2016年2月	東大出版会(全540頁)	105-138頁「第一部 第三章 就学告諭にみる「立身・出世」」 荒井明夫, 川村肇, 池田雅則, 熊澤恵里子, 塩原佳典, 高瀬幸恵, 大間敏行, 軽部勝一郎, 三木一司, 杉浦由香里, 杉村美佳, 長谷部圭彦, 森田智幸, 宮坂朋幸, 大矢一人	

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
2. 藤女子大学人間生活学部公開講座シリーズ① 居場所のないこどもたちへ	共	2016年3月	藤女子大学人間生活学部(全123頁)	96-100頁「教育学の立場から」 隈元晴子編著
3. 近代学校の組織化に関する地域史研究－就学行政の「勸奨」と「督責」の構造化－	単	2018年2月	2014～2017年度科研費研究成果報告書(全114頁)	11-33頁「各府県の「就学督責規則」概観 荒井明夫編著
4. 新中等教育原理－改訂版－(再掲)	共	2019年9月	福村出版(全198頁)	181-194頁「13章 これからの中等教師」 佐々木正治編著 山田浩之、岡谷英明、山岸知幸、田代高章、上寺康司、伊藤一統、矢藤誠慈郎、松原勝敏、赤木恒雄、高橋正司、堀田哲一郎、平田仁胤、大矢一人
5. 教育実習の手引き(第7版)(再掲)	共	2019年9月	学術図書出版(全34頁)	13-19頁「第4章 教科外の指導の心得」 北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会編
(学術論文)				
1. カリキュラム外活動を積極的に導入した教職課程実践に関する一考察	単	2015年3月	藤女子大学QOL研究所紀要第10号	67-81頁
2. 北海道の就学告諭	単	2016年2月	藤女子大学文学部紀要第53号	1-30頁
3. 「総合的な学習の時間」の指導法に関する教員の認識	単	2017年3月	人間生活学研究 第24号 藤女子大学人間生活学部人間生活学科	1-21頁
4. 「総合的な学習の時間」の指導法に関する学生の認識	単	2017年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第12巻第1号	1-30頁
5. アクティブ・ラーニング時代の「教育原理」の授業構築	単	2018年3月	人間生活学研究 第25号 藤女子大学人間生活学部人間生活学科	1-28頁
6. [実践報告]遠距離にいる教育実習生への事前事後指導の実際	単	2019年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第14巻第1号	51-71頁
(その他)				
1. 就学督責規則の改正について	単	2015年5月	就学督責研究会 NEWSLETTER 第1号	3-4頁
2. 就学督責規則データベースをつくろう	単	2015年5月	就学督責研究会 NEWSLETTER 第1号	4-5頁
3. 学習型と教授型 繰り返してきた 藤女子大 大矢一人教授に聞く	単	2015年10月	北海道新聞 2015年10月12日	11面 「戦後70年 日本の教育は(上)「個人」尊重から「愛国」へ」所収のインタビュー記事
4. 就学督責規則の横断的分析(その1)	単	2016年1月	就学督責研究会 NEWSLETTER 第2号	1-2頁
5. 戦後70年を越えて	単	2016年4月	藤女子大学図書館だより No.91	6頁
6. 占領と道民	単	2016年6月	北海道史事典 北海道出版企画センター(全550頁)	403-404頁 北海道史研究協議会編 田端宏・関秀志監修
7. 「総合的な学習の時間」の指導法	単	2016年10月	藤女子大学教職課程ニュース No.11	1-2頁
8. コロキウム4「就学の政策転換－「勸奨」から「督責」へ－「就学督責規則」の概観	単	2017年10月	第61回教育史学会(岡山大学)	コロキウムにおいて発表
9. 再課程認定申請を終えて	単	2018年5月	藤女子大学教職課程ニュース No.16	2-4頁
10. [教育史の研究状況]北海道地方の状況	単	2019年2月	地教史学通信 第143号	2-7頁

Ⅲ 社会連携・社会貢献	
所属学会 日本教育学会, 教育史学会, 全国地方教育史学会, 日本教師教育学会, 北海道教育学会, 中国四国教育学会, 日本教育史研究会	
(社会的機関の役員委嘱等) <全国> 2001年～現在 2018年～現在 2019年～現在 <道内> 1995年～現在 2019年～現在 (地域的連携・貢献) (国際的連携・貢献)	全国地方教育史学会全国幹事 全国私立大学教職課程協会理事・編集委員 教育史学会理事 北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会幹事 北海道史編纂委員
Ⅳ 学内運営活動	
教職課程委員会委員長, 文化総合学科主任	
Ⅴ 学生支援に関する自己研鑽	